

2024年11月14日

泌尿器・副腎・腎移植外科に、過去に通院・入院された患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名]

膀胱全摘・尿路変向術による腎尿細管障害への影響

[研究の目的]

切除可能筋層浸潤性膀胱癌に対しての代表的な治療として膀胱全摘術があります。

膀胱全摘術は一時的に尿管をクランプし、膀胱と尿管を離断する必要があります。尿管は腎臓より生成された尿が膀胱へ流れる通路であり、通路の一時的な閉塞により、腎機能に障害を与える可能性があります。尿管をクランプすることで一時的な尿路閉塞を生じ、それによる腎機能障害がどの程度かを検討する目的があります。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2015年4月1日から2024年04月30日までの間に香川大学医学部附属病院で筋層浸潤性膀胱癌に対して膀胱全摘(開腹・腹腔鏡下・ロボット支援下)・尿路変向(尿管皮膚ろう・回腸導管・新膀胱)を施行された方

○利用する検体・診療情報

診断名、年齢、生活歴、身体所見、検査結果[画像検査(CT、MRI)]、病理所見、周術期合併症、performance status (パフォーマンス・ステイタス)、患者背景を記録する。

○利用または提供を開始する予定日

倫理委員会承認日

[情報の管理について責任を有する者]

香川大学医学部附属病院 泌尿器・副腎・腎移植外科 病院助教 小橋口佳な

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 泌尿器・副腎・腎移植外科

担当医師 小橋口佳な

電話 087-891-2202 (医局直通)

FAX 087-891-2203